

(様式1)

平成31年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 020	提案機関名 神奈川県園芸種苗対策協議会
要望問題名 育成品種フォローアップ研究	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 新品種は産地育成や地産地消を推進する上で重要なアイテムとなっています。サラダ紫、湘南一本、湘南ポモロンなどの県育成品種は個性ある品種として、おいに普及推進することが望めます。しかし、これら品種は現地への普及がやや低迷している感があります。そこで、普及しにくい理由の技術・経営課題を明らかにし、そのことを踏まえた育成品種フォローアップをお願いします。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内    ③4～5年以内    ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター    ②畜産技術センター    ③水産技術センター    ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産技術部野菜作物研究課
対応区分	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中    ③継続検討    ④実施済    ⑤調査指導対応    ⑥現地対応    ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合) かながわらしい地産地消を推進するための技術開発			
対応の内容等 県では、消費者向けに、市町やJAと連携して、かながわブランド事業、JA直売所等店頭販売によりPR推進等図ってきました。また、生産者向けには、普及指導員による栽培指導をはじめ、新規就農者への差別化品目としての紹介や当所の施設公開や広報の取材等の機会を通じて、PRに努めております。 さらなる普及に向けて品種ごとに課題を検討し、‘サラダ紫’のとげなしに向けた改良や「湘南ポモロン」の品種改良及びリコペン含量を高めるための栽培試験、‘湘白’の裂根対策等に取り組んでいます。育成品種も多数あるため、農政課題上の重要性や緊急性、解決の可能性などを考慮しつつ、育成品種フォローアップを継続していきます。			
解決予定年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内    ③4～5年以内    ④5～10年以内		
備考			